

みなみはしもとえき

南橋本駅地区（神奈川県相模原市）

1. 概要

JR相模線南橋本駅周辺は、京王相模原線の橋本延伸で交通利便性の向上が図られたことから、駅周辺へのマンション建設等により近年居住人口の増加が目立ち、駅乗降客数においても相模線の市内各駅で第1位であるにもかかわらず、駅舎は西側のみであるため、特に東側から鉄道利便性が低い状況にある。また、西側の駅前も未整備であるため、タクシーや自家用車の乗り入れが困難で、歩行者との錯綜が生じている。

さらに、駅にはバスが乗り入れられておらず、駅直近のバス停でも駅から500m以上歩かなければならない状況であり、駅周辺交通施設は利用乗降客人員にふさわしい機能を有しているとは言い難い。

このようなことから、地元では平成元年度に整備構想、平成11年度に基本計画を策定し、今回本事業により鉄道により分断された東西地区の歩行者の通行を改善し、地区の均衡ある発展を図るとともに、高齢者等の移動円滑化を図るため、東西自由通路、バリアフリー交通施設の設置、駅前広場の整備を実施するものである。

2. 事業内容

所在地：神奈川県相模原市

事業主体：相模原市

全体事業費：549百万円

H15配分事業費：21百万円

供用目標：平成19年度

3. 新規事業採択評価指標のチェックリスト

○必要性に関する指標

- ・上位計画に位置付けがある。
- ・供用まで5年以内である。

○関連事業の計画に関する指標

- ・駅前広場を整備中か、又は当該事業とあわせて整備予定である。
- ・鉄道事業者による駅改札口のバリアフリー化を実施済み、実施中又は当該事業とあわせて整備予定である。

○現況に関する指標

- ・当該施設が商業地域又は近隣商業地域に含まれるか隣接する。
- ・駅舎部に24時間通行可能な自由通路がない。
- ・駅の一日の乗降客数が5千人以上である。
- ・自由通路、人工地盤、駐車場等がバリアフリー化されていない。

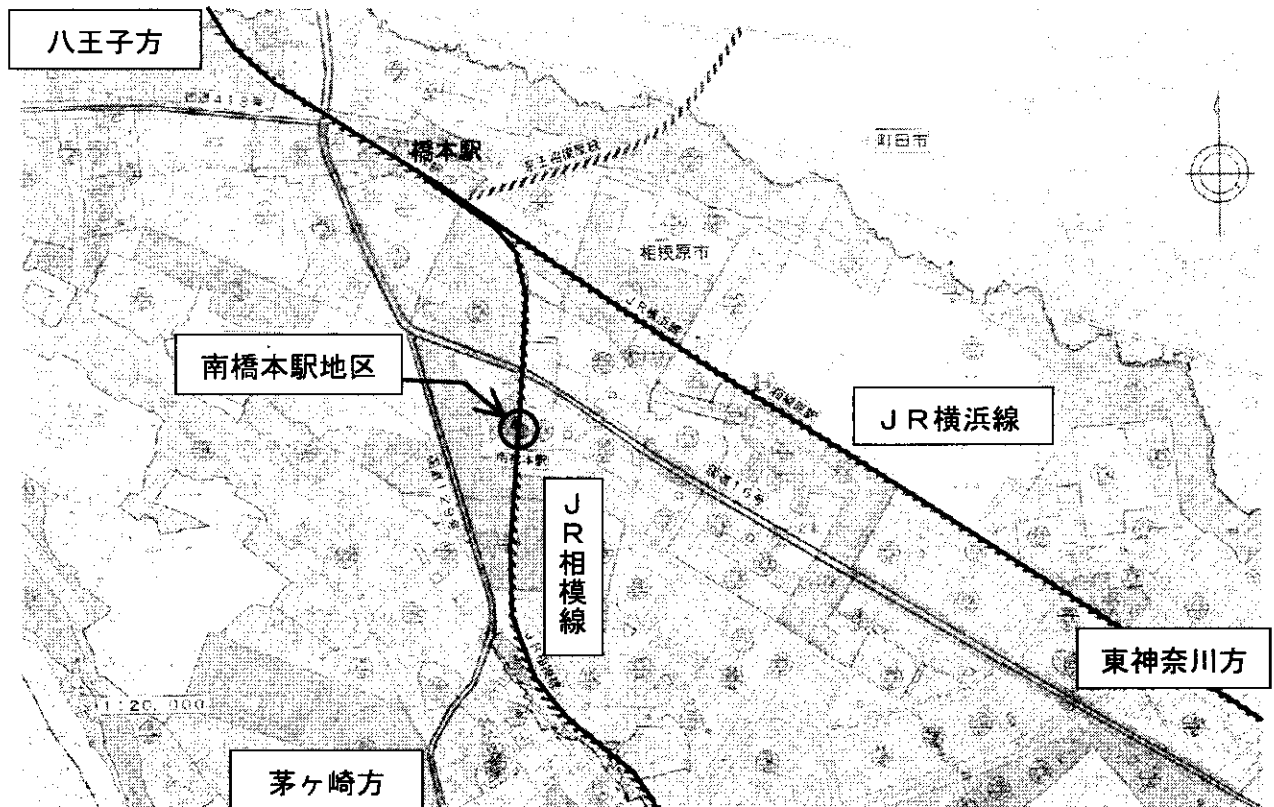
○事業内容に関する指標

- ・交通結節点における自由通路など、乗り継ぎ円滑化に資する施設を整備する。
- ・バリアフリー交通施設（エレベーター、エスカレーター、動く歩道等）を整備する。
- ・駐車場、駐車場有効利用システム、荷さばき駐車施設又は自転車駐車施設を整備する。

○事業効果に関する指標

- ・都市交通の円滑化に資する。

南橋本駅地区



整備概要図

